

まちめぐり資源の解説

八木山の端ルート (総延長約3.4km)

JR可部線 梅林駅

約0.2km ① 蛇王池の碑 (八木ルート参照)

① 大国神社 (だいこくじんじや)

由緒などは不詳ですが、住民が五穀豊饒、家内安全などを祈願しお祭りしています。現在の社殿は、火災焼失後再建された社です。



② 光広神社 (みつひろじんじや)

約500年前、毛利氏が鎌倉の鶴岡八幡宮から神像を移して祭ったと伝えられ、八木村の守り神としてあがめられてきました。光広神社は、八木城主香川氏の祈願所であったともいわれ、香川勝雄が大蛇を退治した太刀が奉納されていました。



③ 龍華寺 (りゅうげじ)

阿武山の中腹にあり、昭和23年(1948年)地元出身の岩本妙栄上人によりつくられた新しい寺院で阿武山の観音信仰の一つです。境内にはお稲荷さんが祭られており、岡山市高松稲荷の分身を勧請したのが始まりといわれています。



寺の中に「滝」があり、龍が目の病気を治したという「御霊水」が湧き出ているため、この二つをあわせて「お滝さん」と呼ばれています。



④ 浄楽寺 (じょうらくじ)

1619年、順超(じゅんちょう)という僧が開いたお寺で、現在の本堂は明治11年(1878年)から4年かかって可部福王寺から移したものだそうです。



⑤ 観音堂 (かんのどう)

観音堂の本尊は、高さ1.5m、重さ2.5tの白い岩石で、付近の山から表れ、郷土の人々から、不老長寿の観音様として尊崇されており、また愛宕社として、火除けの神を併せ祭り、火難、危難、家内安全を祈願しているといわれています。



JR可部線 上八木駅

枝道コース・その他資源
○中庭園 ○別所公園 など

主な参考文献

佐東町史 / 佐東町誕生五十周年記念誌 / 想いでの佐東町
郷土の歴史探訪(安佐南区公民館ネットワーク事業)
わたしたちのばいりん(市立梅林小学校) / しらうめ(市立八木小学校)
広島県神社誌 / 八木用水 / その他現地社寺の現地解説文 など



まちめぐり憩いの空間づくり事業について

安佐南区では、区の魅力を高める「魅力づくり事業」の一つとして、「まちめぐり憩いの空間づくり事業」(平成13年度~平成20年度)を実施し、区民の皆さんと一緒に自然、歴史、まちなみ、施設、住民活動、祭りなど、地域の特徴ある資源を生かしたポイント(空間)や、これらをつなぐルートづくりを行い、平成20年度までに全18ルートが完成しました。このマップは、平成19年度に開催された「まちめぐり憩いの空間ルート研究会」において、八木地区に在住の方を含む区民メンバーが調査・検討した結果をまとめたものです。



バスをご利用になる場合
■県道八木線井線を通るバスは、広島駅・広島バスセンターから多数発着しています。
※運行時刻、所要時間、経由地などは、バス会社にご確認ください。

あさみなみ散策マップ ~八木ルート/八木山の端ルート~

発行: 広島市安佐南区役所 区政振興課 TEL:082-831-4926
制作協力: まちめぐり憩いの空間ルート研究会
発行年月: 平成20年(2008年)3月
平成23年(2011年)10月改訂

八木ルートと八木山の端ルートの周辺について

▼ 昔の太田川

太田川は、広島県西部の冠山を源として広島平野へ流れ下り、瀬戸内海にそそぐ全長103kmの大きな川です。昔から川船の運行や、農業用水・水力発電などに利用される大切な存在でした。

太田川は長い年月の間、何度も洪水をおこして流れる道筋を変えています。

八木のあたりでは、阿武山のもとに沿って馬てい形にまわり、今の八木小学校の北西を通って大きく曲って南下していました。ところが、延宝2年(1674年)の大洪水で可部の今井田村にあった障子岩という巨岩が倒れてからは、川が阿武山からはなれて今の流れになったそうです。

川の流れが変わったことで、それまで八木村にあった中屋地区が可部の中島村となり、太田川の向こうの玖村の飛び地であった一ツ矢地区が八木村となりました。



江戸時代の初めごろを推測した流路と現在の流路

▼ 八木地区について

八木は阿武山のもとにある、太田川に沿った細長い地域です。出雲国に通じる雲石街道や太田川を越える渡し場など、古くから陸上交通や水上交通で大きな役割を果たしていました。現在では南北にJR可部線、国道54号が通り、交通の便が良いことから多くの団地が生まれ、広島市のベッドタウンとして発展しています。

八木の地名がわかるのは、935年ごろに書かれた「倭名類聚抄(わみょうるいじゆしょう)」という本で、この頃は「養我(ようが)」と呼ばれていたようです。さらに1152年ごろの文書には「八木」と書かれるようになっており、その呼び方が続けられてきたようです。



阿武山麓の住宅団地

正しい歩き方

せっかく歩くなら、正しく歩いて「健康ウォーキング」にしませんか?



ウォーキングは...
肥満・高血圧等の生活習慣病を予防・改善するだけでなく、脳の活性化により、認知症や老化の予防、筋力アップによる転倒予防にも効果的です!

元氣じゃけんひろしま21
~安佐南区では、「健康ウォーキング」を推進しています!~

この印刷物は再生紙を使用しています

まちめぐり資源の解説

八木ルート (総延長約3.9km)

JR可部線 梅林駅

約0.1km

① 蛇王池の碑 (じゃおういけのひ)

<蛇王池物語>

昔、阿武山の中腹に何千年も生きている大蛇が住んでいて、人里におりてきては人々に害を与えていました。八木城主香川光景が大蛇退治を呼びかけたところ、香川八将の中で最年少の香川勝雄が志願しました。天文元年(1532年)2月27日、一人で馬に乗り阿武山の中迫というところまで登ると、びょうぶを立てたような岩があり、大木に頭をのせていた大蛇がいました。大蛇が勝雄を飲み込もうと飛びかかってきたとき、勝雄の抜いた太刀が大蛇の首をはねました。切られた大蛇の首が落ち、流れ出した血が川のように、ついには沼ができて深く沈んでいったということです。ここが蛇王池と呼ばれ、供養塔が建てられたという言い伝えがあります。



② 伊勢社 (いせしゃ)

祭神は天照皇大神で、天文年間、別所の住人三郎兵衛という人が、猪が田畑を荒らすので困り、伊勢神宮にお参りして祈願し、お礼を頂いて帰るお祭りした社だといわれています。



③ 権五郎神社 (ごんごろうじんじや)

八木城跡にある小社で御霊社とも呼ばれています。八木城主香川氏の祖先である「鎌倉権五郎景正」を祭神としたことから、この名前がついたといわれています。香川家七代目の景光が八木城築城と共に景正の霊を勧請し、子孫が代々祭ってきました。慶応2年(1866年)に祠(ほくら)が全焼し、明治12年(1879年)ごろに再建されました。



④ 地主神社 (ぢめしじんじや)

大国主命を、一ツ矢住民が祭神として祭ったといわれています。昔、この辺りは、川の対岸である落合玖村に属していたそうです。秋に神楽舞などのお祭りが行われます。



⑤ キツネ岩

キツネ岩と呼ばれるこの岩は、現在地から250m南の城山の北側に埋まっていたものです。<キツネ岩物語>昔、太田川の水面にわずかに見えかかっていたおり、川を渡る船頭達にとっての難所であったため、キツネ岩と呼ばれるようになったそうです。



※八木小学校の敷地内にありますので、見学の際には学校の許可を得てください。

JR可部線 上八木駅

枝道コース・その他資源
○大歳社 ○八木城跡 ○高瀬堰 など

別所公園からの眺望



可部線とコスモス



昭和42年頃のキツネ岩



八木城跡付近（城山）からの眺望



八木城は香川氏が長年にわたり居城した所で、その山は城山と呼ばれています。八木城跡付近からは、太田川や阿武山などを望むことができます。春にはサクラやツツジが咲き誇ります。

八木山の端ルート

総延長約3.4km



八木用水



八木用水は明和5年(1768年)、桑原卯之助という人によって作られた全長約16kmに及ぶ農業用水路です。八木用水が作られる前、佐東町、安古市町、祇園町は農耕用水に恵まれず、少しの日照りで水が無くなるなど米を作るのに困っており、当時の広島藩も様々な策を試みましたがうまくいきませんでした。そこで、農民の苦勞を何とかできないかと考えた桑原卯之助が、土地の高い上流から水を取り入れるようにすれば水が勢よく用水路に流れると考え、計画書を作り、工事を始めてからわずか25日という短さで完成させたといわれています。江戸時代の取水口は「十歩一」という場所でしたが、大正8年の大洪水により上流の「鳴」に移され、現在は太田川発電所から水の全量が供給され、一部区間を八木隧道(地下トンネル)で結んでいます。

光広神社社叢



阿武山から太田川の方へと発達した扇状地に成立した社叢で、見事な常緑広葉樹林として知られ、この地区の自然林であるシイ林であり、大木が多くみられます。

昔の八木梅林



「八木梅林」の名は古くからあり、有名でした。花見ときには殿様の野点(野外でたてる茶の湯)があったり、多くの人々が訪れました。梅が老木になったことや、洪水、太田川の改修工事などにより、現在では梅の木は少なくなりましたが、昔は一万坪、千本もの梅の木があったといわれています。

梅林とメジロ



第一古川上流



大馬謨



高瀬堰の完成により、当時の佐東町が記念碑「大馬謨」を建立しました。この碑は規模が大きく精巧につくられており、碑文は中国古代の治水の神である夏の禹王の偉大なる謀にあやかったユニークな碑となっています。

八木ルート

総延長約3.9km



阿武山（城山からの眺め）



記号の説明

- | | | | | | |
|--|-------------------------|------|------------------------------------|-----------------------|-----------------|
| | まちなめぐりルート | | 公園 | | バス停留所 |
| | 区間の距離
単位: km | | 緑道 | | コンビニエンスストア |
| | 注意場所など | | 河川・水路 | | スーパー・ショッピングセンター |
| | | 横断注意 | | 神社、寺院、碑
その他由来のあるもの | |
| | 信号交差点 | | 特設ある風景・街並み | | 展望場所 |
| | 歩行注意 | | 眺望場所 | | 郵便局 |
| | 階段 | | 社叢・樹木 | | PB 交番 |
| | 矢印方向に巻り版 | | ※注) ①資源・文化財名で示したものは
裏面に解説があります。 | | WC トイレ |
| | 寄り道・抜道コース
ショートカットコース | | | | |
| | 八木用水 | | | | |